

**平成 28 年度各部会の活動状況と平成29年度各部会の取り組み**

**【サービス部会】**

委員 指定特定相談支援事業所

【ソレイユ、スマイルサポート、まごころ、手をつなぐ相談支援、未来図、うきうきサポートセンター、きぼう、オリーブ \*はあと】

課 題	①相談支援事業所の抱える現状や様々な課題がありながら、共通したものとなっていないため、市の課題等になっていない。 ① 相談支援専門員数が少ない事業所もあり、相談体制や支援体制が不十分ではないか。 ② 事例検討会を部会全員で一緒に行っているが、検討が十分に行われていないのではないか。 ③ 障害福祉サービス等の適切な利用のためのマニュアルが必要ではないか。
-----	--

	活動計画	活動状況・取り組み
平成28年度  (部会開催 13回)	① <u>地域の相談支援体制の強化</u> ・ 市内の相談支援事業所の現状や課題、ニーズを共有するための、仕組みを作る。 ・ 相談支援事業所相談員を支援するため、情報を共有し、事例相談するためのシートを作成する。 ・ 相談支援事業所相談員のネットワークを広げるため、他の部会との連携を図る。 ② <u>サービス利用についての検討</u> ・ 障害福祉サービス等マニュアルの検討を継続する。	① <u>地域の相談支援体制の強化</u> 相談の課題やニーズを共有し、相談支援専門員がお互いに支援できるための仕組みづくりを目的に、 ・ 「相談支援定例報告」の様式を作成し、毎月の部会前日までに新規相談の件数や対応に困ったことなどを事務局に提出。2グループに分かれて情報の共有や、事例検討を実施。市における相談等の課題の整理を行った。 ・ 各事業所の相談支援専門員の保有資格や経験等を部会で共有した。 ・ 県コーディネーターを講師に招き、1月11日、「ストレングスモデルに基づく障害者ケアマネジメント」研修開催。 ・ 地域移行部会担当者から、地域移行部会の取組について説明を受け、意見交換を行った。 ② <u>サービス利用についての検討</u> ・ 「居宅介護等及び移動支援サービス利用のご案内」を作成。ヘルパー事業所と相談支援事業所を対象に説明及び意見交換のための合同研修会を2月8日に開催。市側から「居宅介護及び移動支援サービス利用」について説明後、4グループに分かれて意見交換を行った。20か所のヘルパー事業所から30人、相談支援事業所を含むサービス部会22人が参加。意見交換では、障害福祉サービスと介護保険の制度の違いや、居宅介護のサービスの範囲など様々な内容の意見があった。
平成29年度	① <u>地域の相談支援体制の強化</u> ・ 市内の相談支援事業所の現状や課題、ニーズを共有し、課題を整理する。 ・ 相談支援専門員同士のサポートのための仕組みづくり。 ・ 就労部会との意見交換会の開催 ・ 研修会の開催 ② <u>サービス利用についての検討</u> ・ 障害福祉サービス等マニュアルの検討を継続する。	① <u>地域の相談支援体制の強化</u> ・ 毎月、対応した困難事例等を市内の相談支援事業所間で共有し意見交換を行っている。困難事例は相談員が抱え込んでしまうこともあるため、全体で共有することで相談支援のスキルアップにつながっている。相談支援専門員同士のサポートのためのネットワークにつながっている。 ・ 研修会の開催 8/8 第1回地域包括支援センターとの合同研修会 10月 精神障害者への理解(県央保健所講師) 11月 就労部会との意見交換会の開催 12月 研修会(圏域アドバイザー講師) ② <u>サービス利用についての検討</u> ・ 障害福祉サービス等マニュアルの検討を継続予定